

※5日間の予定でハワイ旅行に出かけた場合。

日本とハワイは19時間の時差があるため、日本時間の8時、20時に内服している方は、ハワイ時間の13時(前日)、1時に内服することになります。このままではお子さんはハワイで深夜に内服することになるため、時間調整を行います。ハワイ到着後、13時の内服(日本時間で翌日8時に相当)を中止します。これは1回飛ばすことになるため、スキップとも呼びます。そして、ハワイ時間の20時になったら内服を再開し、8時、20時のパターンで内服します。帰国日はハワイ時間の8時に内服します。日本に戻ったら、日本時間の20時に内服を再開します。下図のように旅行日程の最初と最後で内服間隔にばらつきは生じますが、確実に免疫抑制剤を内服できることとなります。

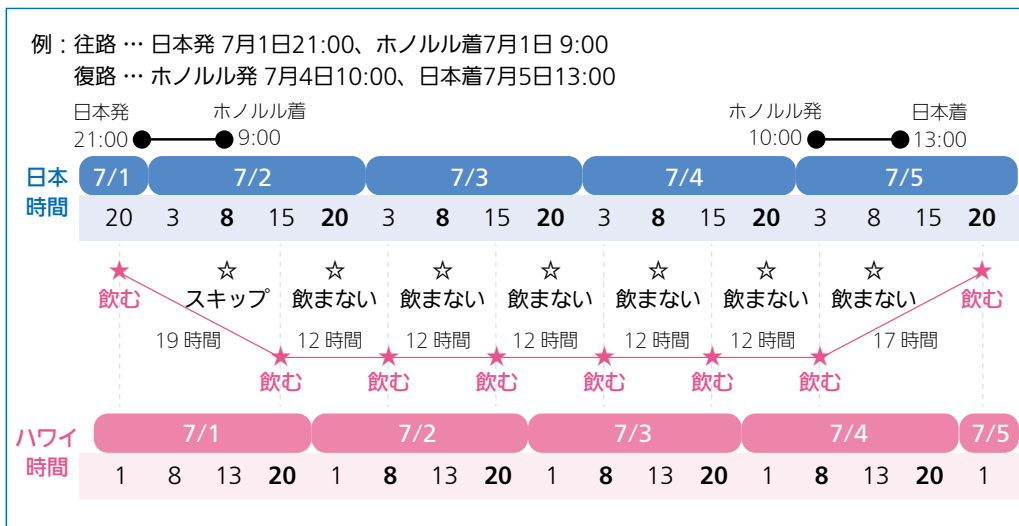


図1 免疫抑制剤内服時間の調整例(ハワイ)

⑪動物とペットとの関わりにおける注意点

動物には多くの病原体が存在するといわれています。そのため、積極的に動物を飼うことはできるだけ避けましょう。

動物と関わる際は、感染予防のために動物に噛まれないようにすること、排泄物などに触れないようにすることなど注意ください。また、口移しで物をたべさせたり、動物に触れた手で目や口を触ることは避けてください。

動物に触れた場合にはきちんと手を洗う習慣をつけましょう。

※ペットをすでに飼われている場合はご相談ください。当院の臓器移植センターのHPに「臓器移植を受けたお子さんとペットの生活」について資料がありますので、こちらをご参照ください。

<https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/special/img/110826-1.pdf>

⑫歯科健診

歯の定期健診を受けましょう。かかりつけの歯医者に服用中の薬剤をお知らせください。抜歯処置をする場合には、予防的な抗生剤投与やプログラフの休薬が必要となる場合があります。詳しくはhttps://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/special/for_recipient.pdfをご参照ください。

⑬他院を受診する際の注意点

他院を受診する場合には「肝移植を受けたこと」「現在服用中の薬剤」を担当の先生に伝えるようにしてください。

⑭薬の飲み合わせ

(1) マクロライド系の抗生剤(クラリス・ジスロマックなど)はプログラフの血中濃度を上昇させる相互作用があるため処方しないようお願いしてください。

マイコプラズマ肺炎などマクロライド系抗生剤の処方が必要な際は、免疫抑制剤の調整を行う場合がありますので、医師またはコーディネーターまでご連絡下さい。

- (2) 急な発熱・疼痛時には基本的にはクーリングもしくは、肝機能が安定していたらアセトアミノフェン(カロナール、ピリナジン、小児用バファリン)内服投与での対応をお願いしてください。解熱鎮痛剤として坐薬を使用した際に急激な門脈血流低下を認める恐れがあるため原則的に坐薬の使用は避けてください。

⑮輸血における注意点

血液型不適合移植の場合は、赤血球輸血は患者さんと同型となりますが、新鮮凍結血漿・血小板輸血に関してはAB型の輸血となります。

⑯レシピエント手術後、妊娠・出産

当院で肝移植後、無事に出産された方がいらっしゃいます。レシピエントの妊娠・出産の詳細については、参照ください。妊娠、出産される際は、妊娠前から薬のコントロールなどが必要となる方もいます。安全・安心なお産のために、妊娠・出産を希望される際は、事前に医師・コーディネーターにご相談ください。

⑰食事

食事の時間を規則正しくすることはとても大切です。

バランスの良い食事をとるようにしましょう。

移植前、食事制限があった方は移植後に緩和されます。

※離乳食や食事でお困りのことがあれば、主治医を通して栄養相談を受けることができます。



- グレープフルーツなどに含まれる成分が薬物代謝に影響し免疫抑制剤の血中濃度を上昇させるため摂取はしないようにしましょう。
 - 治療によりワーファリン(抗凝固剤)を内服している場合、納豆・クロレラにはビタミンKが多く含まれており、ワーファリンの効果を弱めるため、摂取しないようにしましょう。
 - セント・ジョーンズ・ワートはサプリメントやハーブティーなどとして販売されています。免疫抑制剤の血中濃度を低くするため摂取しないようにしましょう。
- ※詳細は「8肝移植とお薬」のP55の薬についてのQ&Aをご覧ください。

⑱外来通院

移植外科の外来日は『火曜日・金曜日の午前中』です

- 通院頻度は、退院後8週間(約2ヶ月)は1週～2週に1回の外来受診
- その後は状態に応じて「月に1度」「2～3ヶ月に1度」になります

外来受診時の注意事項

- (1) 朝の分の免疫抑制剤は内服しないで病院に持参してください。採血後に内服します。(前日の夜分は通常通り内服してください)
- (2) 免疫抑制剤を落としたり嘔吐してしまうことを考えて、余分に持ってきてください。
- (3) 診察前に「具合が悪い」「お薬を忘れた」などがありましたら、コーディネーターを呼んでください。

※9:30までに採血をすませておいてください。来院が遅くなって午前中に診察ができない時は(診察時間内に採血結果が出ない場合)には、当日の診察が行えない場合がありますのでご注意ください。